

令和4年度第1回消防運営審議会の会議録

審議会等名	令和4年度第1回海老名市消防運営審議会
開催日時	令和5年2月17日(金) 午後1時30分から午後3時まで
場所	海老名市消防本部会議室
出席者	海老名市消防運営審議会委員会 委員7名 消防長、消防次長、消防次長兼消防署長 消防総務課長、消防総務課庶務係長 消防総務課地域消防係長 警防課長、警防課警防係長 警防課救急救命係長、予防課長 予防課予防査察担当課長兼予防査察係長 予防課危険物指導係長 消防署管理課長、消防署管理課管理係長 消防署副署長兼第3警備課長 事務局2名
傍聴人数	0名
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 <input type="checkbox"/> 非公開
報告事項	【消防総務課】 ・消防署南分署整備事業の進捗状況について ・消防本部庁舎のトイレ改修工事について ・消防団出動指令及び動態管理アプリ導入について 【予防課】 ・予防課の事業報告について 【警防課】 ・「2022 えびな救急フェア」について ・車両の更新について 【管理課】 ・管理課・警備課の事業報告について
資料	※別添 「資料」のとおり

○会議の内容（提出された意見及びそれに対する回答）

1 開会	
	※消防総務課長により開会宣言、資料確認等
2 会長あいさつ	
【会 長】	<p>本日は、お忙しい中、消防運営審議会に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。今回、初めて委員になられた方もいらっしゃいますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、新たに副会長の選任もございますので、委員の皆様のお力をお願いいたします。また、本日は、消防本部の各課から、事業の報告がございますが、委員の皆様には、様々な視点からのご意見、ご質問をお願いしたいと思います。</p> <p>審議会終了後には、更新された車両の見学も予定されております。特殊車両の見学となりますので、是非、御参加いただければと思っておりますので、よろしくお願い致します。</p> <p>最後になりますが、委員の皆様には、今後も、海老名市が「安全で、安心して暮らせるまち」として、発展していけるよう、ご協力をお願いして、私の挨拶とさせていただきます。</p>
3 消防長あいさつ	
【消防長】	<p>本日は、大変お忙しい中、令和4年度海老名市消防運営審議会にご参集いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>また日頃より、本市消防行政に対しましてご理解とご協力をいただいていることに対しまして厚く御礼申し上げます</p> <p>さて、この運営審議会ですが、市長の諮問に応じて消防行政の運営に関する重要事項を調査及び審議するものでございます。委員の皆様は任期は2年となっており、今年の7月31日までとなっておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本日の審議会は、市長からの諮問事項はございませんが、後ほど令和4年度の消防本部主要事業の報告をさせて頂きたいと思っております。宜しくお願い致します</p> <p>さて、これまでも諮問事項として、平成30年度には「西分署開署に伴う管轄区域について」そして令和3年度（昨</p>

年度)は消防団員の報酬の改正について」の諮問に対し、委員皆様からご意見を頂いてまいりました。

西分署の管轄区域について様々なご意見を頂きましたが、おかげさまを持ちまして、令和3年4月1日から西分署の運用を開始いたしまして、市内均一な消防活動を行っております。

昨年、1年間の統計結果が出ており、救急出動についてお話をさせていただきますと、救急件数は過去最多で8,475件ございました。各管轄の内訳でございますが、本署(2隊)3,638件(43%)、北分署2,081件(24%)南分署1,407件(17%)西分署1,349件(16%)5隊運用ですので20%が平均となる、若干、南、西の件数が少ない状況でございますが、南分署は海老名市の南半分を管轄としており、広い分1件の所要時間が長く、西分署は今後も駅周辺の開発が進み増加すると考えると、管轄区域は概ね良好と言えます。出場に関し多い・少ないはございますが、人事異動により、職員の負担の均等化を図り対応しております。

次に、消防団の報酬の改定につきましては、議会の議決を得て、令和4年度から新たな手当として、支給しております。それまでは出動手当は、3時間未満の活動で3,000円、3時間以上の活動で4,000円ございましたが、時間等条件を付けずに一律8,000円に見直すことができました。この改定につきましては、運営審議会の皆様の妥当であるという後押しも頂いたものであり、感謝申し上げます。

この報酬の見直しは全国的にも行われており、出場1件当たり一律8,000円に改定したのは県内でも4市(川崎・厚木・逗子・海老名)のみであり、県内ほとんどの都市は活動時間に条件を付けての改正でありました。消防団員確保策の一環として今回改正させていただきました。今後、消防団員が一人でも多く入団して頂ける事を期待しているところでございます。

以上2件が近年の諮問事項であります。

さて、先程申し上げた通り、本日は市長からの諮問事項はございませんので、各課から、現況報告をさせていただきます。委員の皆様から忌憚のないご意見を頂き、今後の消防行政に活かしていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

	最後になりますが、本日まで出席の皆様方の今後ますますのご多幸、ご健勝を祈念いたしまして、わたくしの挨拶とさせていただきます。
4 自己紹介	
	※委員及び職員自己紹介
5 副会長選出	
	副会長 立候補者なし 推薦で決定
6 副会長あいさつ	
【副会長】	副会長という重責ではございますが、皆様の御協力をいただきながら、微力ではありますが、海老名市の消防行政の、更なる活発な運営に向け、精一杯、務めさせていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。
7 報告事項	
【消防総務課】	消防署南分署整備事業の進捗状況について
【消防総務課】	※資料のとおり説明
【消防総務課】	消防本部庁舎のトイレ改修工事について
【消防総務課】	※資料のとおり説明
【消防総務課】	「消防団出動指令及び動態管理アプリ」導入について
【消防総務課】	※資料のとおり説明
【予防課】	予防課の事業報告について
【予防課】	※資料のとおり説明
【警防課】	「2022えびな救急フェア」について
【警防課】	※資料のとおり説明
【警防課】	車両更新について
【警防課】	※資料のとおり説明
【委員】	※質疑なし
【消防署管理課・警備課】	消防署管理課・警備課の事業報告について
【管理課】	※資料のとおり説明
【委員】	※質疑なし
【質疑】	
【委員】	「2022えびな救急フェア」でAEDについての説明があったが、その時に、市内に設置されているAEDのケース内に、三角巾を配備する予定であると説明を受けた。現在の三角巾の配備状況を伺いたい。

	<p>また、A E Dのバッテリーについて、全国各地でバッテリー切れが発生しているニュースを見た。A E Dが有事の際に使えないのでは、大きな問題となる事から、市内の公共施設のA E Dの管理はどのように行なっているかを伺いたい。</p> <p>なお、救急車の除細動器は充電式、市内公共施設のA E Dはバッテリー式ですが、点検など管理については、どうなっているのか。</p>
【警防課】	<p>市内公共施設に設置されているA E Dは81ヶ所であるが、そのA E Dについてはケース内に三角巾も配備する準備を早急に進めている。進捗としては三角巾の購入は済んでおり2月下旬には配備を完了させる予定である。また三角巾を配備するだけでなく、女性に対するA E Dの使用方を明記したリーフレットを作成し、同時に配備する計画を進めている。</p> <p>A E Dのバッテリーの管理については、海老名市で管理しているA E Dは、全てリースのため、業者が定期的にバッテリーや消耗品の交換を行っており、必ず使用できる状態にしている。また、救急車の除細動器については、毎朝の点検を行っており、使用毎にバッテリーを交換している。こちらの除細動器も業者に点検を依頼にしており、常に使用できる状態を保っている。</p>
【委員】	<p>南分署移転後の跡地について、ヘリポートなどもあるが、今度の運用をどのように考えているのか。</p>
【消防総務課】	<p>南分署移転後の跡地については、ご存じのとおり、ドクターヘリの使用に伴うヘリポート及び高層の訓練塔、また訓練塔上部に三市消防指令センターの基地局になる無線局がございますので、しばらくは訓練施設として活用するが、無人の施設になるため、侵入防止や安全対策を施し、使用していく予定。</p>
【委員】	<p>少年消防クラブは女の子も入会可能か。</p>
【予防課】	<p>入会可能</p>
【委員】	<p>現在の「少年消防クラブ」の名称だと、男の子しか入会できないという印象があるため、「少年少女消防クラブ」という名称に変更してはどうか。</p>
【予防課】	<p>全国的に名称に「少女」を含めている市町村もあるが、国からの少年消防クラブ発足当初の名称が、「少年消防クラブ」であり、また、「少年」という意味の中には「少</p>

	<p>年・少女」という意味が含まれていると本市では解釈しているため、現在も「少年消防クラブ」という名称で運用している。</p>
【委員】	<p>改修工事個所は、男性用トイレの改修のみなのか。</p>
【消防総務課】	<p>女性用トイレも改修箇所に含まれている。</p>
【委員】	<p>南分署の移転後、河川敷に近づくが、車両の移動など浸水時の対応はどうなるのか</p>
【消防総務課】	<p>ハザードマップ上の相模川の氾濫による、新南分署の最大時の最大水位はどのくらいになるのか。</p> <p>また、氾濫した場合の消防車両の避難場所はどこになるのか。</p>
	<p>新南分署の浸水時の最大水位については、3mを想定しているため、新庁舎の事務所は2階としている。</p> <p>また、氾濫した場合の消防車両の避難場所については、杉久保四丁目にある南部大型備蓄倉庫としている。</p>
<p>8 その他</p>	
【委員】	<p>他市でドローンの有効利用が多く、先進事例で大和市が2018年にドローン隊を発足し、合計12機のドローンを配備し、災害時の情報収集に活用している。また、相模原市もドローン隊を結成しており、昨年ドローンを使用した空撮事業を民間企業と提携し、空家対策のために行なっていると聞いている。</p> <p>現在の海老名市のドローン保有台数及び操縦資格者の人数を伺いたい。</p> <p>また、今後保有台数及び操縦者数を増やす計画があるか伺いたい。</p>
【署長】	<p>現在、海老名市で保有しているドローンの台数は消防本部で1機、市長室危機管理課で1機の合計2機であり、災害の種類によっては危機管理課のドローンを、消防本部でも使用できる。</p> <p>ドローン操縦者については、ドローンスクールで受講した職員が数名おり、その職員を中心に毎年講習を行い、操縦者を増やしている。現在の認定のドローン操縦者は10名であり、今年度も教育中の職員が5名程度である。</p> <p>海老名市では、毎日勤務の者でドローン隊を編成し、3名で現場に向かっている。その中の1名は、ドローンスクールで受講した者を安全管理者として配置している。</p>
<p>9 閉会</p>	

【事務局】

※消防総務課長より閉会宣言

※閉会後に、新水槽付き消防ポンプ車（令和5年2月20日運用開始）及び
新高規格救急車（令和5年3月1日運用開始）を見学